

飛騨高山観光特集

春の飛騨高山で心身リフレッシュ

祭りと桜、飛騨高山は春爛漫

18万人の人数を見込む

飛騨路に春の訪れを告げる「春の高山祭(山王祭)」が4月14、15日、高山市内で開催される。高



ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」。絢爛豪華だ

日本三大美祭の一つに数えられて

高山祭は「春の山王祭」と「秋

の八幡祭(同日9、10日開催)

の総称。「山王祭」は城下町の南

半分の氏神様である日枝神社(山

王様)の例大祭で、上二之町・上

三之町・上三之町などが舞台にな

る。

コロナ禍の影響で2020年は

中止、21年は規模を縮小して開催

。22年は例年通りを予定してい

たが、雨のため屋台の曳(ひ)き揃

(そろ)えや御巡幸、夜祭りは中

止になった。23年も15日の屋台行

事が雨のため変更になったが、2

日間の入出は16万8千人となり

。コロナ禍前(19年)の18万2千人

の9割まで回復した。昨年の入出

は18万8千人ほどで、コロナ禍前

の水準に回復した。今年も18万人

の人数を見込んでいる。

今年「恵比須白」の修理も終わ

り、12台の絢爛豪華な屋台が蔵

ら出され、桜が咲き始める中、古

い町並や中橋を通り、それぞれの

場所に曳き揃えられる。屋台曳き

揃えやからくり奉納、夜祭り、御

巡幸など見どころがいっぱいだ。

どこから来たか知らなかったのが

樹齢約1000年、枝張りの30

m、高さ20mに及ぶ日本を代表す

るエドヒガンザクラの大樹。4月

中旬から臥龍公園で「桜まつり」

が開催される。

県指定天然記念物の西光寺の枝

心揺さぶる美の競演



西光寺の枝垂れザクラ

飛騨高山の春を彩るのが各地に

ある美しい桜。県指定天然記念物

の庄川桜(庄川町)、国指定天然

記念物の臥龍桜(二之宮町)など

見応えのある桜が幸ととりに

咲き、幹の形が龍の臥した姿に似て

いる。

県指定天然記念物の西光寺の枝

垂れザクラは、樹齢800年以上

と推定される県下でも珍しい枝垂

れ桜の巨木。ヒガンザクラの変種

といわれ、毎年地表に覆い被さる

ように花を咲かせる。見ごろは4

月下旬。

御母衣(みほろ)湖畔にある庄

川桜はアズミヒガンザクラで、樹

齢約500年といわれる。今はタ

ムの湖底に沈んでしまった光輪寺

と照蓮寺の境内にあった巨桜で、

水没させるのはしのびないとし

て、現在の場所に移植された。見

ごろは例年4月下旬から5月上旬

で、満開後3日間はライトアップ

される予定だ。

風情ある東山遊歩道

散策に最適

もう一つの名山

観光名所・古い町並から徒歩約

10分、しっとりとした春の空

気を漂わせるのが東山エリア。散

策にはもってこいの場所だ。

多くはもってこいの場所だ。

多くの寺院や神社があり、風情

た。一般財団法人金森公園協会

が主催する。

昨年是最長5000年にあ

る。東山遊歩道(全長5.5km)

が整備されている。

高山の礎を築いた戦国武将の金

森長近公ゆかりの禪宗寺院などが

建てられ、東山寺院群が形成され

ている。遊歩道はそれら貴重な文

化財を巡るルートでもある。

昨年是最長5000年にあ

る。東山遊歩道(全長5.5km)

が整備されている。